



このメールは本会 HP より登録された方々へ配信させていただいております。
配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。

*****☆目次☆*****

- 【1】『巻頭言』 ～「偉大な教師は心に火をつける」～（佐野暢俊）
- 【2】『わが街クラブの人気メニュー』15,000 人の町編（その 2）
～地域全体でのクラブ作り～
- 【3】『総合型クラブ設立・運営のリスクマネジメント（その 9）』賃貸借契約
- 【4】『指定クラブ訪問記』 大郷スポーツクラブ（仮称）（宮城県大郷町）
- 【5】『指定管理者制度・クラブの現状と課題』（下）～今後の展望と課題～

【1】『巻頭言』 ～「偉大な教師は心に火をつける」～



■今年の甲子園は、駒大苫小牧の 3 連覇か早実の悲願の初優勝か、田中・斉藤両投手の投げ合い、1969 年以來の決勝戦再試合と大変に盛り上がりました。8 月 20・21 日は日本中がテレビの前に釘付けになりました。高校生の真剣なプレイとスポーツの感動的な場面を見て、「スポーツをやってみよう、子どもにやらせてみよう」とスポーツ人口が増えればうれしいことです。

■一昨年、千葉県広域スポーツセンター主催の「スポーツフォーラム」で、最近の子ども達は家にとじこもって外遊びをしなくなった。一人でゲーム機に向かい集団遊びをしなくなった。小さい頃から、歩いたり走ったりするのが少なくなり、足型を取ると足指が映らない子どもが増えている。足指の発達が不十分なばかりでなく、重心が踵にきて正しい姿勢をとれず、集中力に欠け、他人の話が聴けない子どもが増えてきているという話を聞きました。

小さい頃から、スポーツに親しむことの少ないこんな子ども達の、発育・発達に応じた働きかけを、地域の大人達がしていかなければならない時代が来ていると感じています。

■8 月のクラブ育成アドバイザーミーティングで、「アドバイザーの仕事は、

総合型地域スポーツクラブを創る人をつくるのが仕事」と教わり、胸につかえていたものがストーンと落ちたような気分になりました。

「凡庸な教師はただしゃべる。よい教師は説明する。優秀な教師はやってみせる。偉大な教師は心に火をつける。」という言葉がありますが、県内を巡りながら、スポーツクラブの立ち上げに携わっている方々の苦勞を受け止め、「偉大な・・・」を目指し頑張っていこうと思っています。

(佐野暢俊 千葉県クラブ育成アドバイザー)

【2】『わが街クラブの人気メニュー』15,000人の町編 (その2) ～地域全体でのクラブ作り～



◆広報活動の一つに、クラブ紙の発行があり、裏面には『私たちも応援しています』というコーナーを設けています。地域の企業の社長や商店主のみなさんにクラブの理念を説明し、「毎月読んで下さい」「賛同して頂けるのであれば企業名を掲載させて下さい」とお願いしているものです。

私たちは、これを『心の協賛』と呼んでおり、純粹に、多くの方にクラブのことを知って頂きたい、賛同して頂きたいと思っただけの行動でしたので、協賛金のようなものは一切頂いていません。すると驚いたことに、企業や商店主さんの方から、「支援させてもらうからいつでも言うてよ」という暖かい声が続出しました。(平尾好孝 くちくまのクラブ『SEACA』サブマネジャー)

▼文章全文と写真はこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=65>

【3】『総合型クラブ設立・運営のリスクマネジメント (その9)』賃貸借契約

■Q; クラブの事務所を借りたいと思います。契約に際して注意することを教えてください。

A; クラブ運営を進めていく中で、専用の事務所を持つことは重要なことです。トラブルにならないように事務所を借りるために、いくつかの注意点が 있습니다。特に賃貸の契約内容等についてよく確認しましょう。

(行政書士 谷塚 哲)

▼文章全文はこちらから▼

<http://www.japan-sports.or.jp/local/news/newsDetail.asp?newsNo=66>

【4】『指定クラブ訪問記』(仮称) 大郷スポーツクラブ (宮城県大郷町)



